



Oasis meets Books

オアシス・ミーツ・ブックス

本のあるオアシス 本のある人生

2021年7月 vol.14

Oasis meets Books について、ステキな感想・ご意見が61通届いております(#^_^#)

ひとつひとつに「同感」と私も頷きながら、61の声を毎朝の朝礼でオアシス職員へ順次お伝えしています。

この場をお借りし、一部お伝えさせていただきます。『一度自分で読んだ本でも、他者の違った目線で見る事ができる。』

『自身が読まないジャンルも紹介してくれるので、新たな発見になっていいと思う。』『載っている職員の写真をみると

驚く半面、入っているいろいろな面を持っている事を改めて再認識する事ができます。』など・・・(目新刊図書も6冊3拠点

貸出準備整っております。図書貸出感染予防対策実施の上、ご活用くださいませ。(教育委員会 副委員長:徳廣波江)

生きることは食べる喜び 口から食べる幸せを守る / 小山 珠美

老健 栄養科 / 管理栄養士 堤 祐子



著者の小山先生は、看護師として病院で食事支援にあたる傍ら「NPO法人 口から食べる幸せを守る会」を立ち上げて全国各地でセミナーを開催され、NHK番組「プロフェッショナル」にも出演されるなど、日本における食事介助の第一人者です。



本書には、食事支援に対する今の医療現場での問題点を、実際に関わった患者様やそのご家族様の事例を交えながら取り上げ、また食事介助の基本なども分かりやすく解説されています。先生自身の「食べることを決して諦めない」という強い信念に感銘を受け、セミナーにも参加しました。現場でできることには限界もありますが、ご利用者様の「食べたい」という気持ちを最期まで支援できるようなスキルや知識を身につけていきたいと改めて感じました。

食事支援に関わる専門職や現場のスタッフの方だけでなく、在宅で食事介助を行なっている一般の方にも是非、目を通していただきたい一冊です。

・次回⇒老健 栄養科 / 管理栄養士 矢野 萌

うさぎとかめ / イソップ寓話

グループホーム オアシス平野 / 介護士 浅島 ひろみ



この物語はウサギとカメが競争し、ウサギが油断をしている間にカメが一步一步ゆっくりと進んでいき、最終的にはカメが勝つという有名なお話です。



私たちの人生も同様で、働くという事は、ある意味競争する事だと思います。私自身はあまり競争心はありませんが、この本を読んで色々と考えさせられました。

私はまだまだ介護士として努力しなければいけない事がたくさんありますが、この物語のカメのように一步一步努力する事によって少しでも日々成長し、職場の仲間と助け合いながら、一人前の介護士になれるよう頑張っていきたいと思いました。

皆さんも読んだ事があると思いますが、童心に帰った気持ちで、もう一度読んでみられてはいかがでしょうか？

※この物語は室町時代後期以降に西欧から流入し、明治時代には初等科の教科書に「油断大敵」というタイトルで採録されました。また、「もしもしかめよ かめさんよ」で始まる童謡「うさぎとかめ」も有名です。

・次回⇒グループホーム オアシス平野 / 介護士 中山 英代

本にだって雄と雌があります / 小田 雅久仁

老健 オアシス デイケア・ロング / 看護師 真砂 祐子



『実は本にも雄と雌があって、相性のいい本を隣りに並べると跡継ぎをこしらえる』今回で紹介する本は、2012年第3回Twitter文学賞受賞の長編小説です。



「書物の位置を決して変えてはいけない」大阪の旧家、本だらけの祖父母の家には禁忌があった。しかし、小学4年生の少年がその掟を破ってしまう。すると翌朝、信じられない光景が...

私は普段あまり本を読まないのですが、大好きな娘に相談したところ「この本は面白かったよ」と勧められたので久しぶりに手にとってみました。

最初はダジャレが多く、関西弁もくどい感じで苦手だなと感じていたのですが、中盤から物語は一気に奇想天外な展開をしていきます。

戦争の悲惨さが描かれながらも、親子4代にわたる家族愛にあふれたストーリー等、最後はほっこりするお話でした。

本好きな方には是非おすすめしたい一冊です。

・次回⇒老健 オアシス デイケア・ロング / 介護士 安田 知子

ボクはやっと認知症のことがわかった / 長谷川 和夫 猪熊 律子

デイケア オアシス寿安 / 理学療法士 大東 宗弘



認知症検査評価として長谷川式スケールを開発した、認知症専門医の長谷川和夫医師が自ら認知症となり、「認知症とは何か」を自らの生活を通して改めて理解、その実体験に基づいた著書です。



医療従事者の方には認知症とは何かを専門医師から学べる一冊であり、また一般人の方には著者の生活を通して認知症を学べる内容となっています。

現代は高齢社会であり、人生においても認知症は避けることのできない病気となっています。認知症になればできることができなくなり、子ども扱われがちですが、認知症の本質は「暮らしの障害」であると示されています。病気になったから諦めるのではなく、以前の生活を送れるように、本人ができない部分のみ生活を支援することが大切であり、今後の医療、介護分野にとって重要な視点になるのではないかと感じました。

・次回⇒デイケア オアシス寿安 / 介護士 大西 由美

今すぐ話せる津軽弁 / 工藤 正昭

グループホーム オアシスキズリ / 介護士 泉田 真実

父親が青森県出身なので、小さい頃から毎年お盆になると青森の祖父の家に遊びに行っていました。そこでは祖父や父親の友達が津軽弁で話しているのを耳にする機会が多かったことから、自然に津軽弁に興味を持つようになりました。



ある日、本屋に立ち寄った時にたまたま「今すぐ話せる津軽弁」の本を見つけ、早速購入しました。

よく使われる単語の紹介からはじまり、色々なシチュエーションごとに使われる津軽弁がわかりやすく紹介されます。携帯でQRコードを読み込めば生の発音を聞くことも出来るので、まるで本当に青森にいるような感じでとても楽しく、津軽弁の奥深さを色々学ぶことができました。

コロナ禍でなかなか旅行へは行けませんが、青森や津軽弁に興味がある方は是非読んでみて下さい。



・次回⇒グループホーム オアシスキズリ / 介護士 斎藤 正人

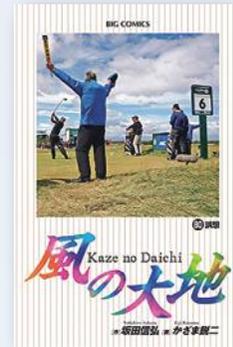
風の大地 / 坂田信弘(原作) かざま鋭二(作画)

特養 オアシス寿安 生活支援課 / 介護士 藤田 徳明

先日、ゴルフの松山英樹プロがアジア人として初めて世界4大ゴルフトーナメント大会の1つであるマスターズを制し、コロナ禍に明るいニュースを届けてくれました。



活字だけの本を読むことも大切ですが、たまには気分転換に、気軽に漫画を手にとってみてはいかがでしょうか。



今回ご紹介する漫画「風の大地」は、ゴルフを題材にしたストーリーです。ゴルフ競技は自然環境、運・不運、メンタル等、様々なことを受容しながら臨み、そして挑まなければならず、また結果は全てが自己責任です。さらにミスや困難に対する対処が非常に大切です。主人公の愚直なまでの努力と謙虚な姿勢、フェアプレー、出会いの大切さ等々、漫画と言えども学ぶべき事がたくさん詰まっています。

いまや日本の誇るべき文化とも言われている漫画。オン・オフの切り替えのツールとして、時には手にされてみてはいかがでしょうか。

・次回⇒特養 オアシス寿安 生活支援課 / 介護士 織田 雄貴

トルシエ革命 / フィリップ・トルシエ 田村修一

老健 オアシス デイケア・ロング / 介護士 南方 博好

今から20数年前、私がホテルで勤務していた1999年、ちょっとしたご縁で日本のサッカーワールドユースチームと共にフランスへ渡り、歴史的快挙ともいべき準優勝の瞬間を味わう事ができました。その時の監督であったフィリップ・トルシエがこの歴史的快挙から、2002年日韓ワールドカップまで続く『トルシエロード』について記した本です。



トルシエが日本に来る前、アフリカの国ブルキナファソで代表監督を務めていたのですが、最初、日本での評判はあまり良くありませんでした。その評判をピッチ上で具体的に戦術を描いていく事で次第にトルシエ信者が増えていきました。トルシエの指導力はピッチ上だけでなく、滞在先のホテルや空港などでも如何なく発揮されておりました。トルシエはふざけているようにも見られますが、公的な場では必ず紳士的に振る舞います。必ずレディファーストですし、場の雰囲気にも馴染むことを徹底されていました。勿論、オフの場ではエアフランスのキャビンアテンダントと飲みに行ったりするのですが、ここでも紳士的なことに変わりありませんでした。その行動がチームにも浸透してくると、U-20という若い世代の選手たちもトルシエの言う事を理解しようとするようになります。練習と試合を重ねていくうちに、如何に戦えば如何に勝ち進めるかという勝利の方程式を身につけていったのです。

人生には様々な勝負の時がありますが、必要な集中力や勝負の分かれ目についても書かれていますので、わくわく感満載の一冊です。



・次回⇒管理本部 人材開発部 / 大村 理加

オアシス文庫 recommend

10年後、君の仕事はあるのか？

蔵書ご案内

10年後、君に仕事はあるのか？
／ 藤原 和博

人生90年、100年時代、新型コロナウイルス感染症の出現によるAIの加速、そのような時代に生きる中高生向けに語りかけるよう書かれています。

この中で「情報編集力」が大事だと繰り返し語られています。ゲームで例えるなら正解のある「ジグソーパズル型学力」(情報処理力)と正解のない問題を解決しようとするときの構想力、適切な目標設定やビジョンを提示する力「レゴブロック型学力」(情報編集力)です。

また、「遊び」が情報編集力の基盤(10歳までは思いっきり遊ばせる)。情報編集の核となるコミュニケーション能力を伸ばすのは「ナナメの関係」の第三者との会話である。そして、現代は「超便利社会」人間のロボット化が懸念され、そうならないためにも「面倒なほう、厳しい道、よりタフな状況」を選ぶ、選ばせると語られています。

円卓会議の中で理事長がいつも話される内容と重なる部分も多く、必要な事は同じだと実感しました。

本の内容は高校生向けですが、「もう自分は遅い」と決めつけず、今日から意識を変えてみようと思える一冊です。

(教育委員会 副委員長: 徳廣波江)

老健入り口の書棚「オアシス文庫」から貸し出せます▶



編集後記

今月も様々な本をご紹介いただきありがとうございます。毎号、「読んでみたいな」と思う本がありますが、思いながら時間が過ぎ、忘れてしまうことも度々あります。時間にしっかり印をつけ、上手に使わないともったいないな、と反省しています。年に2回、法人より、オアシス文庫に新しい本を購入いただいています。

候補選定にはなるべく職員の皆様のご意見を採り入れたいと考えていますので、気になる本がありましたら是非ご一報ください。教育委員会では一人でも多くの方が「ページを開いてみたくなる本」を揃えたいと考えております。

オアシス
教育委員会

(教育委員会: 中島美和子)